

**Quantum Leap**

発想の飛躍



# トヨタ紡織株式会社

東証1部 証券コード 3116

2014年3月期

## 第2四半期 決算説明会

開催日:2013年11月11日

場 所:ステーションコンファレンス東京



**Quantum Leap**

発想の飛躍

# 1. 決算状況

- 1) 決算概要
- 2) 2014年3月期 第2四半期決算状況
- 3) 2014年3月期 業績予想

# 2. 徹底した収益向上への取り組み

- 1) 地域別の取り組み〔北中南米・欧州〕
- 2) モノづくり改革への取り組み〔日本〕
- 3) 新技術への取り組み
- 4) 新規顧客への取り組み



**Quantum Leap**

発想の飛躍

# 1 決算状況

- 1) 決算の概況
- 2) 2014年3月期 第2四半期決算状況
- 3) 2014年3月期 業績予想

# 1) 決算の概況

1. 上期は、アジア・オセアニアでの台数減などはあったものの、北中南米での台数増、為替の影響などにより増収

2. 下期は、為替や生産台数を見直し、売上高、経常利益などの通期予想を上方修正

3. 中間配当金は、1株につき 9円



**Quantum Leap**

発想の飛躍

# 1 決算状況

- 1) 決算の概況
- 2) 2014年3月期 第2四半期決算状況
- 3) 2014年3月期 業績予想

## 2)2014年3月期 第2四半期 連結決算概要

### 【第2四半期連結決算概要】

(億円)

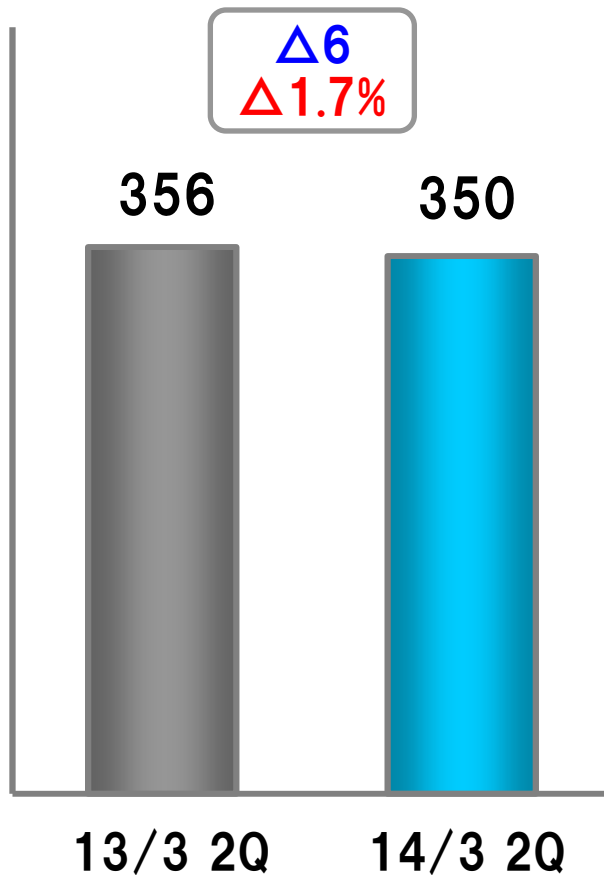
		13/3期2Q		14/3期2Q		増減		1Q時予想	
売上高		5,513	100.0%	5,921	100.0%	408	7.4%	5,300	100.0%
営業利益		183	3.3%	161	2.7%	△21	△11.7%	130	2.5%
経常利益		189	3.4%	228	3.9%	39	20.7%	155	2.9%
当期純利益		94	1.7%	114	1.9%	20	21.3%	70	1.3%
1株当たり当期純利益		51円11銭		62円00銭					
1株当たり配当金		8円00銭		9円00銭					
為替レート	USドル	79円		99円		20円 円安			
	ユーロ	101円		130円		29円 円安			

# 2)2014年3月期 第2四半期 地域別生産台数

## シート生産台数

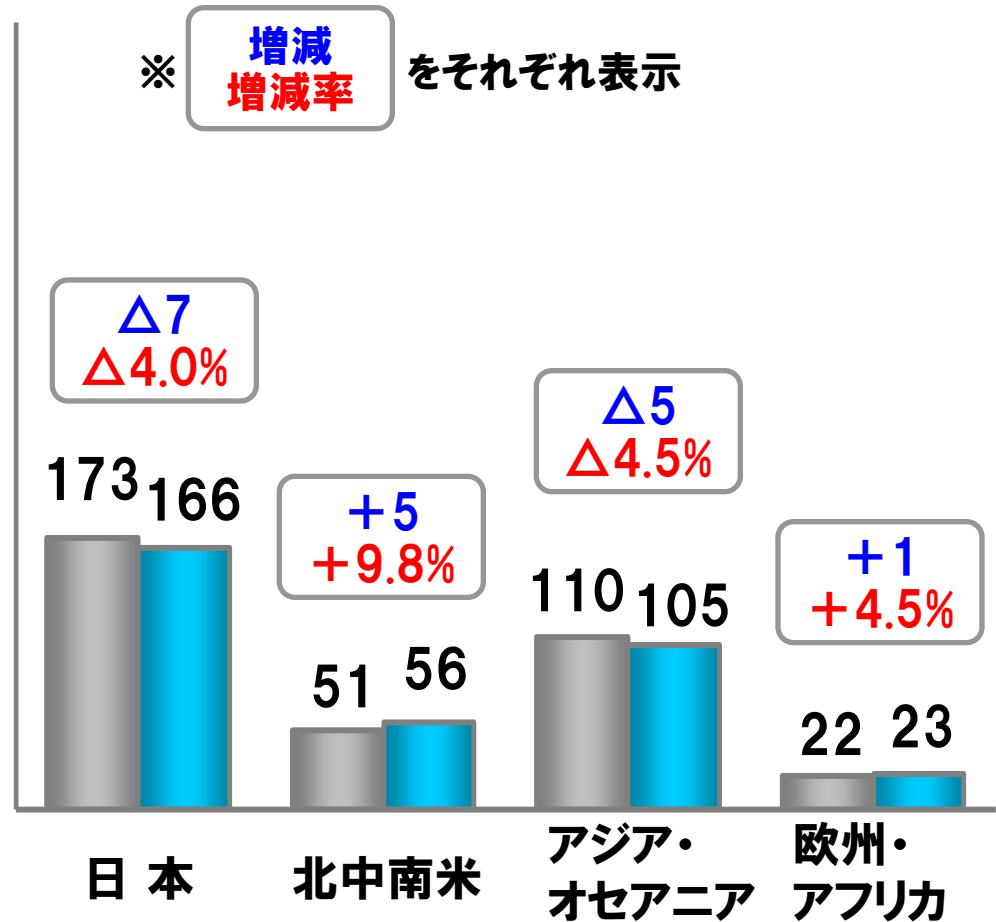
### 連結全体

(万台)

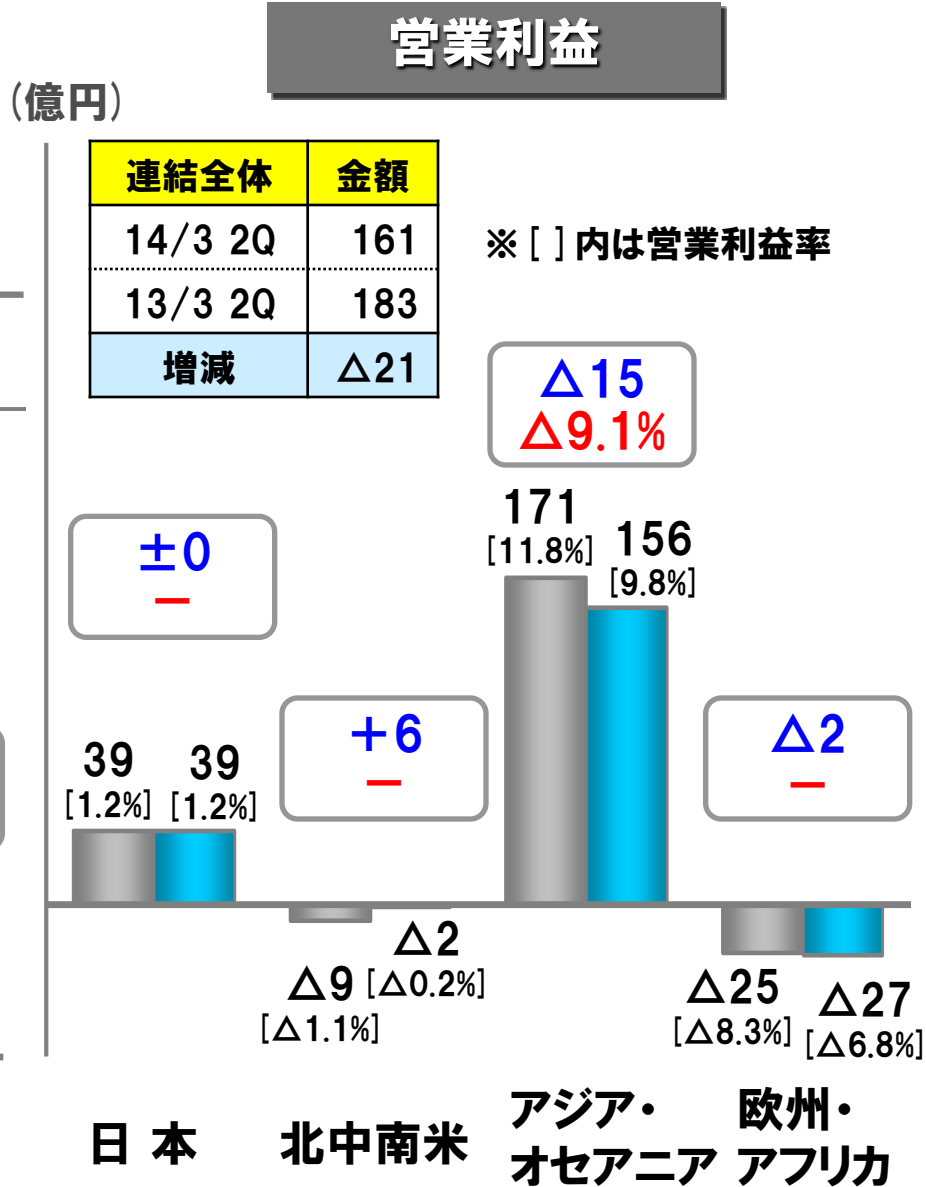
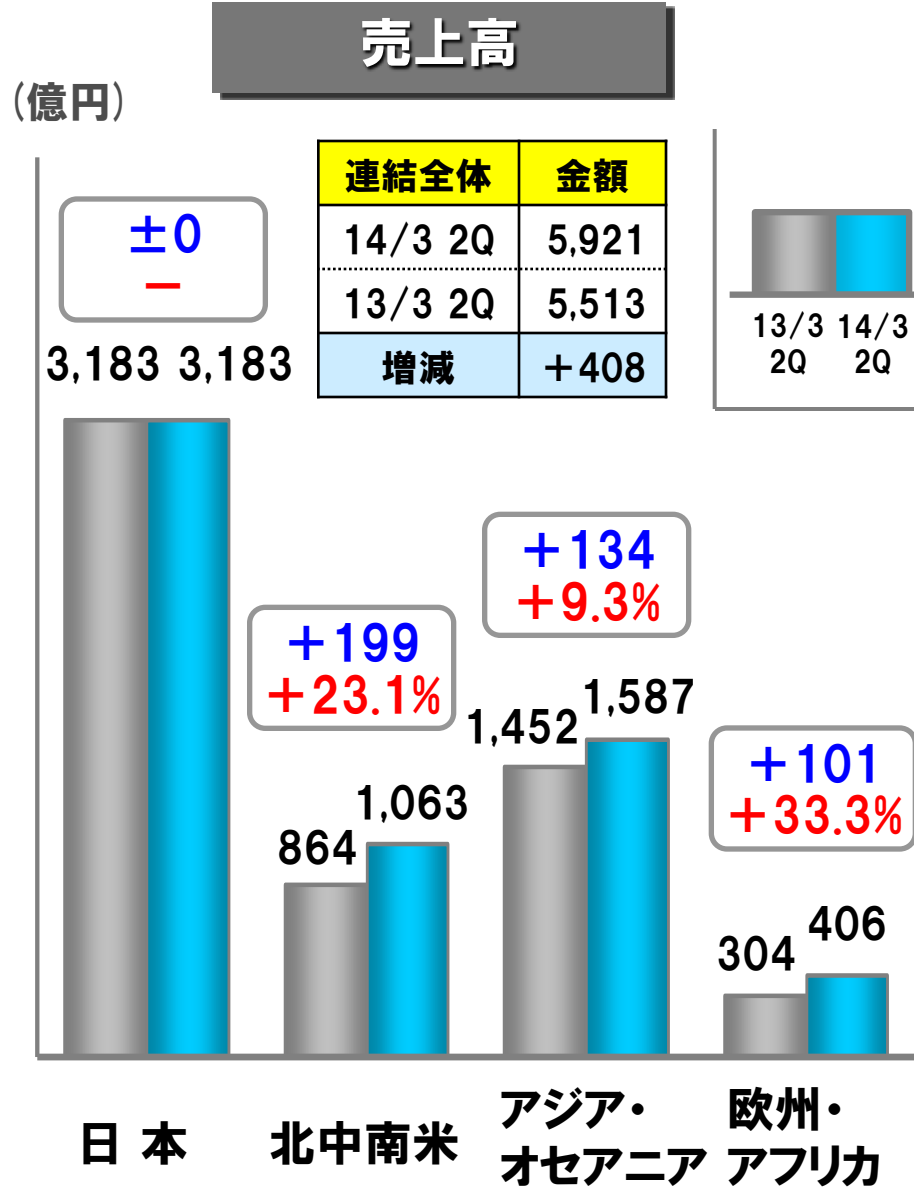


### セグメント別

(万台)



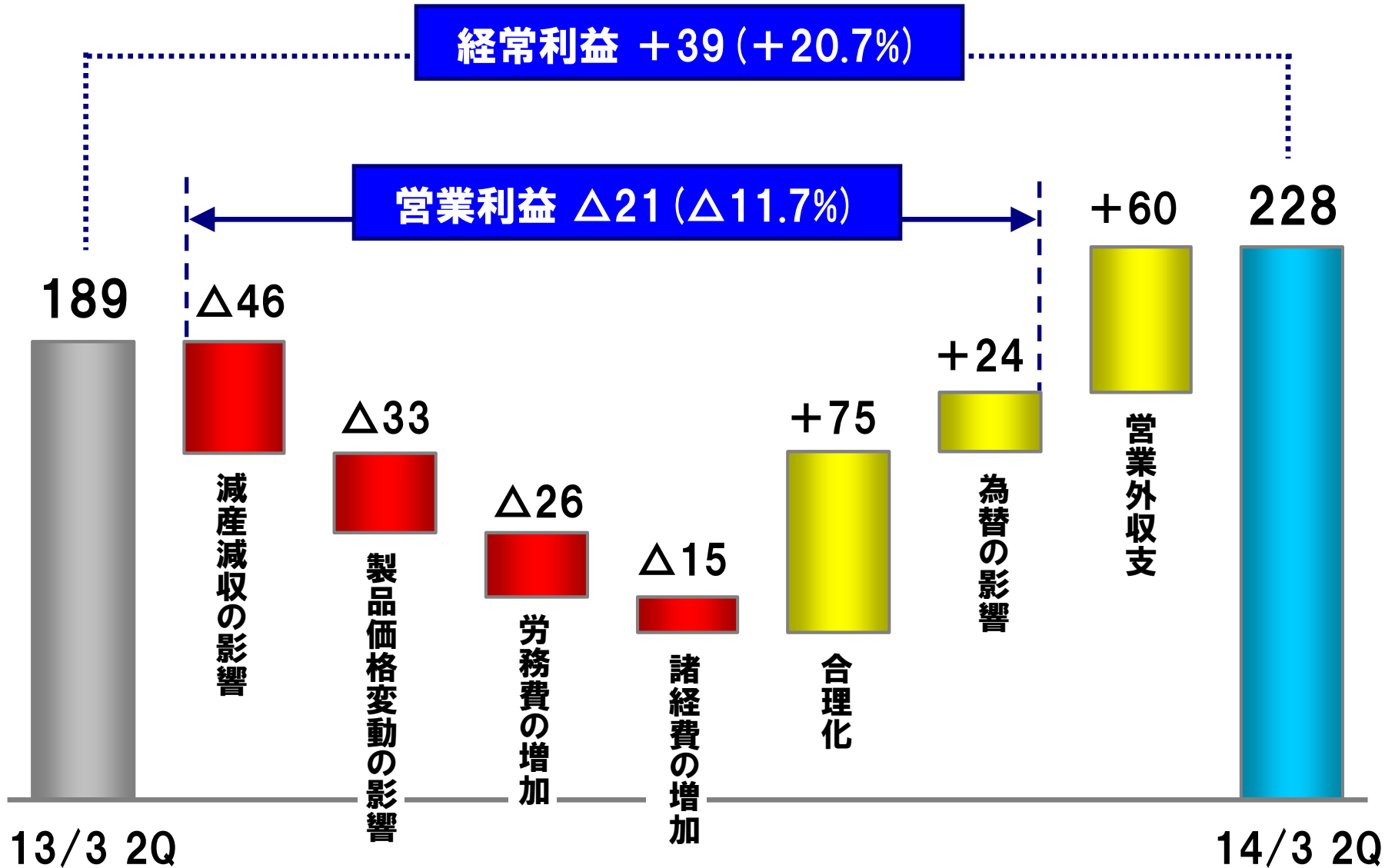
# 2)2014年3月期 第2四半期 地域別セグメント情報





## 2)2014年3月期 第2四半期 経常利益増減要因

(億円)





Quantum Leap

発想の飛躍

# 1 決算状況

- 1) 決算の概況
- 2) 2014年3月期 第2四半期決算状況
- 3) 2014年3月期 業績予想

### 3)2014年3月期 通期業績予想

#### 【連結決算 通期業績予想】

(億円)

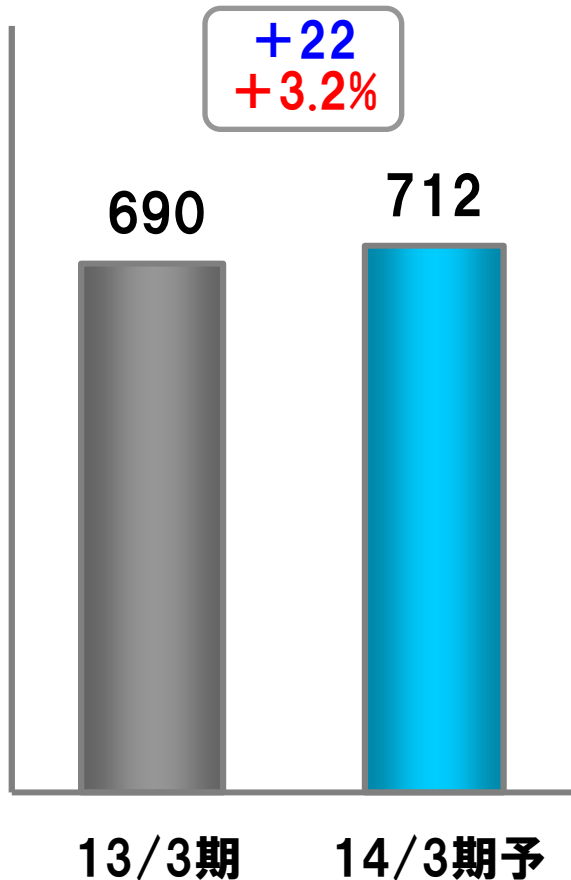
		13/3期		14/3期予想		増減		1Q時予想	
売上高		10,794	100.0%	12,000	100.0%	1,205	11.2%	11,000	100.0%
営業利益		253	2.3%	300	2.5%	46	18.6%	300	2.7%
経常利益		339	3.1%	360	3.0%	20	6.2%	340	3.1%
当期純利益		157	1.5%	170	1.4%	12	7.6%	160	1.5%
1株当たり当期純利益		85円23銭		91円74銭				86円35銭	
1株当たり配当金		18円00銭		18円00銭				18円00銭	
為替レート	USドル	83円		97円		14円 円安		92円	
	ユーロ	107円		130円		23円 円安		122円	

# 3)2014年3月期 通期業績予想 地域別生産台数

## シート生産台数

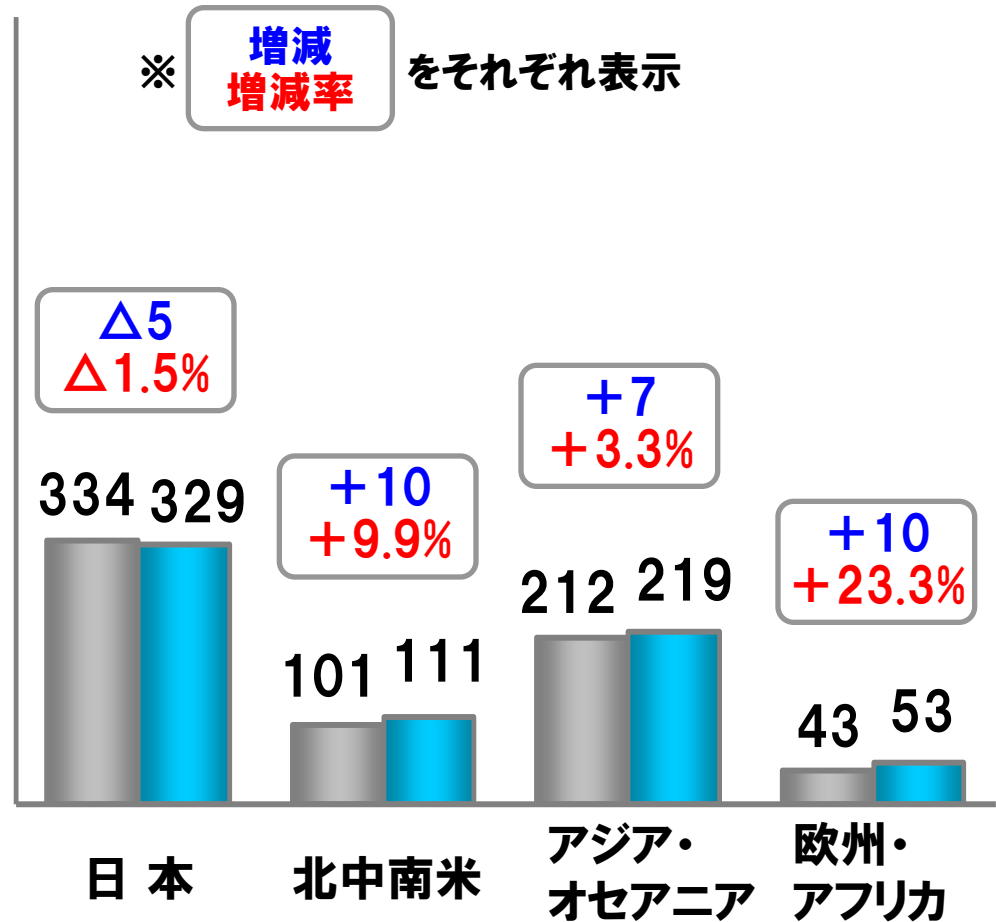
### 連結全体

(万台)



### セグメント別

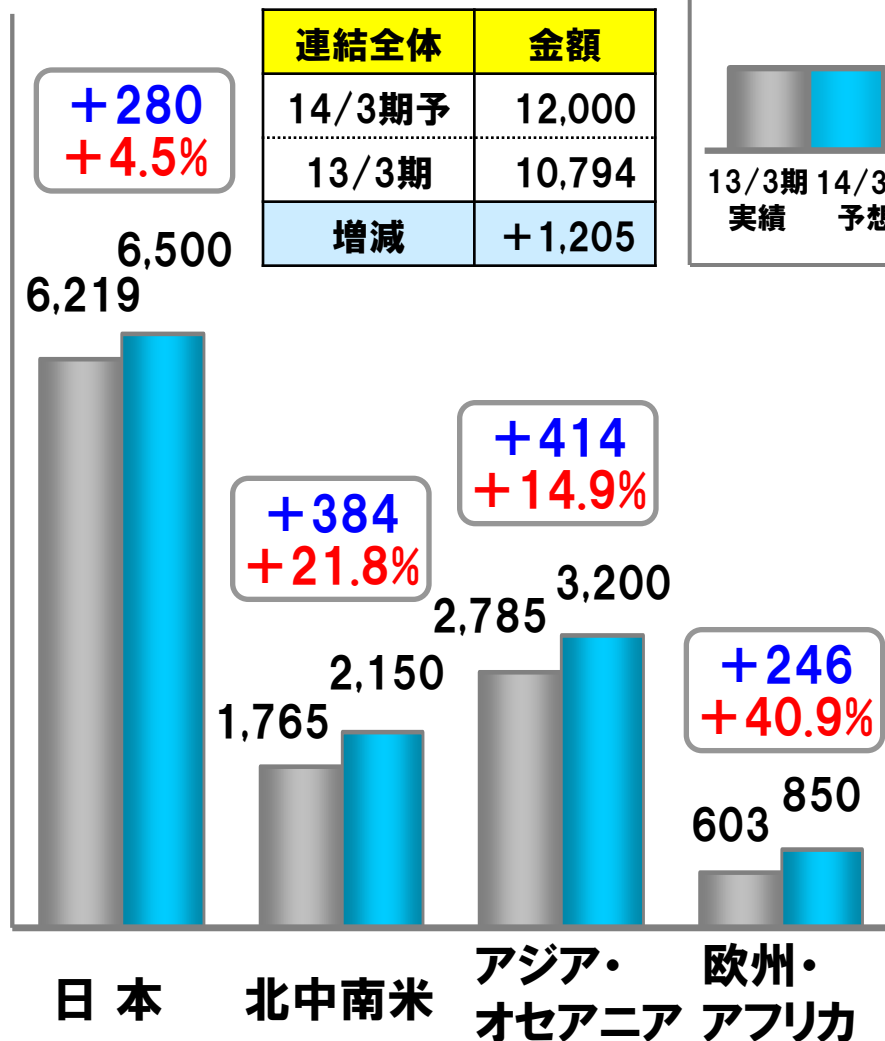
(万台)



# 3)2014年3月期 通期業績予想 地域別セグメント情報

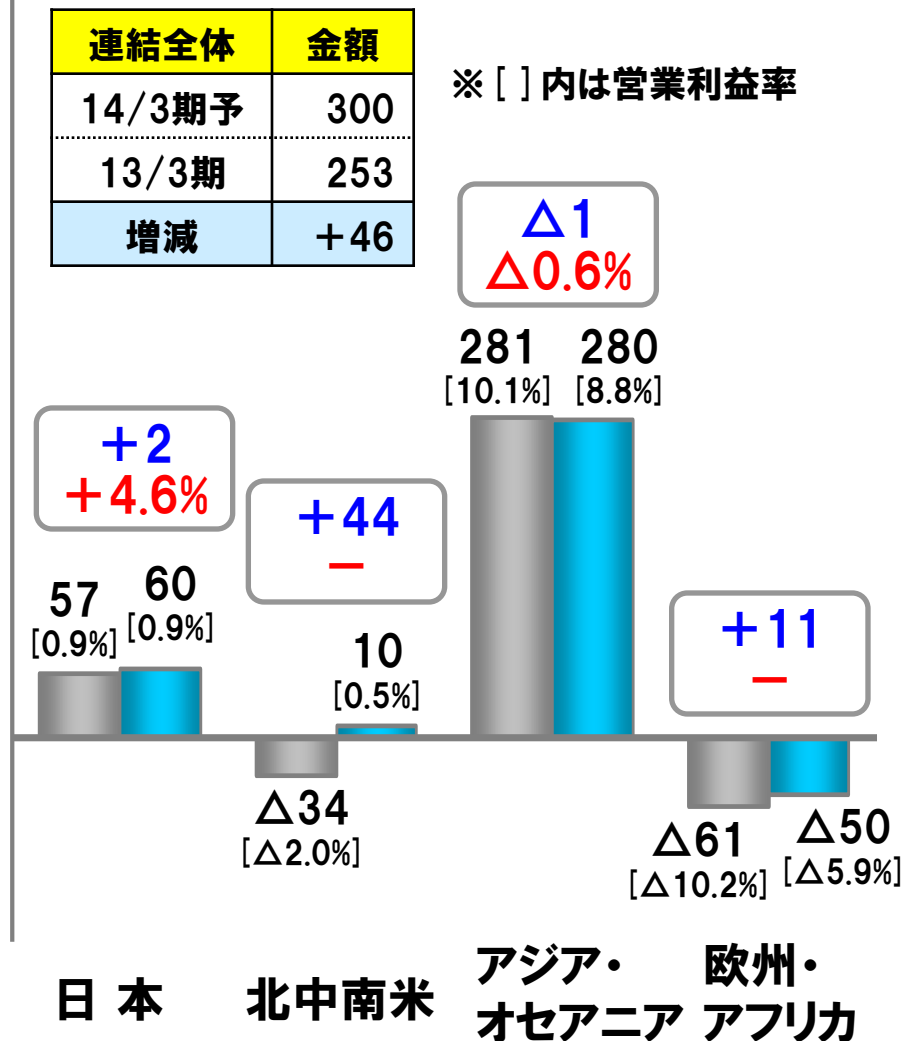
## 売上高

(億円)



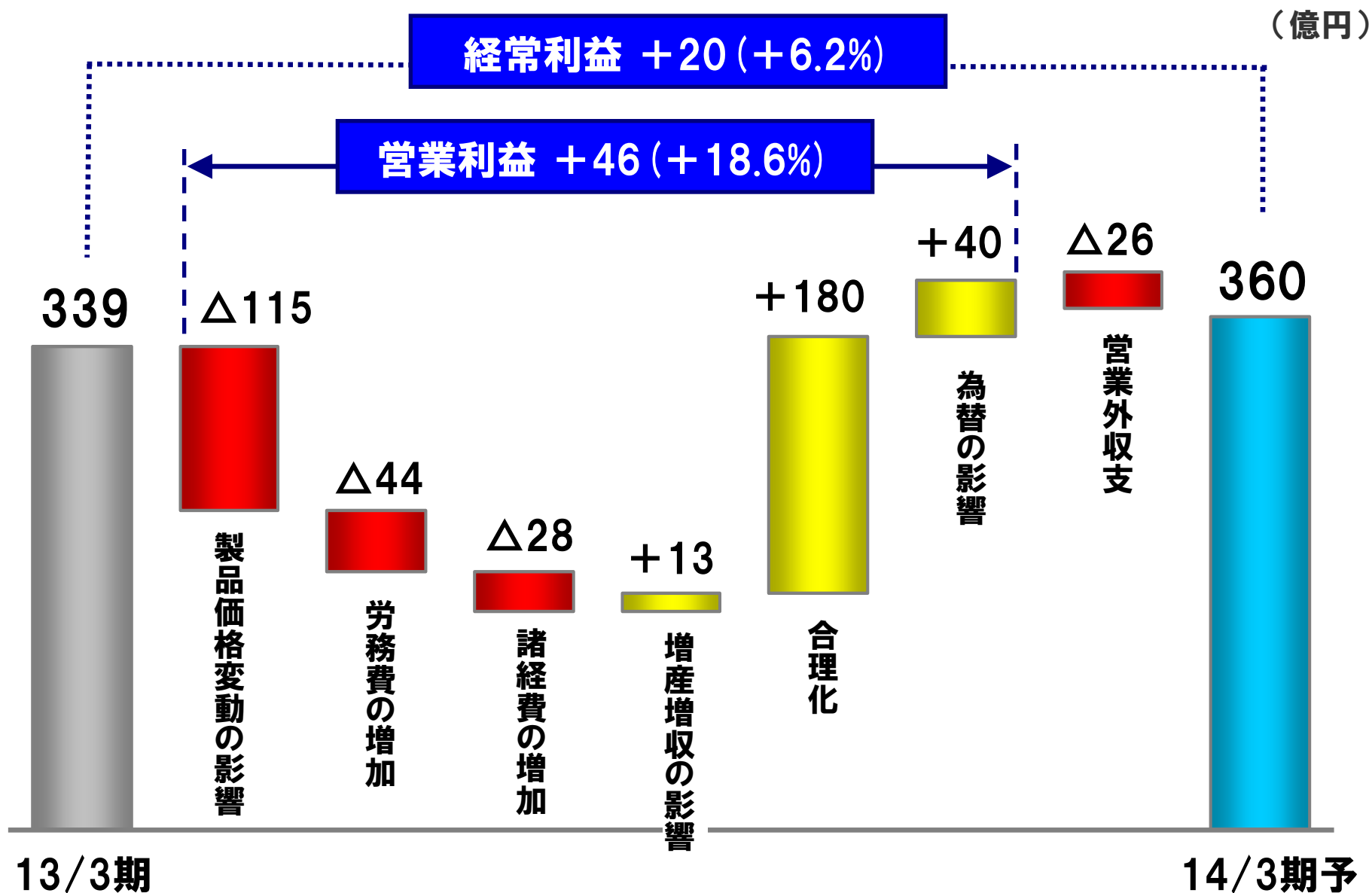
## 営業利益

(億円)



※ [ ] 内は営業利益率

### 3) 2014年3月期 通期業績予想 経常利益増減要因





**Quantum Leap**

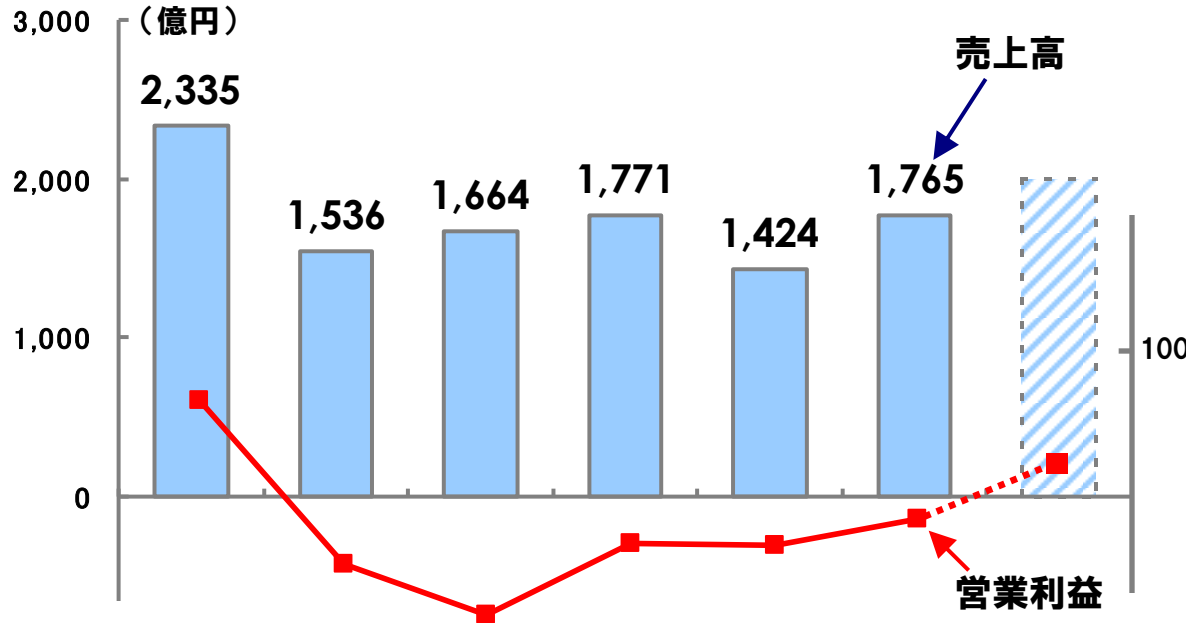
発想の飛躍

## 2 徹底した収益向上への取り組み

- 1) 地域別の取り組み〔北中南米・欧州〕
- 2) モノづくり改革への取り組み〔日本〕
- 3) 新技術への取り組み
- 4) 新規顧客への取り組み

# 1) 地域別の取り組み〔北中南米〕 ～北中南米収益構造改革～

## 北中南米の収益構造改革を推進 今期黒字化へ



### 1) 生産拠点の統合・閉鎖

経営統合 3地区

工場閉鎖 4拠点

### 2) 要員の合理化

本社要員のスリム化  
(630→510 ▲120人)

### 3) 製造部門の体質強化

- ・生産性の向上
- ・歩留まり改善
- ・部品の現地調達化
- ・物流効率の向上 等

	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13
取り組み			収益構造改革活動				黒字化
設備投資	カナダ	ミシシッピ					
			インディアナ				
モデルチェンジ		▼	▼▼		▼▼	▼▼	▼

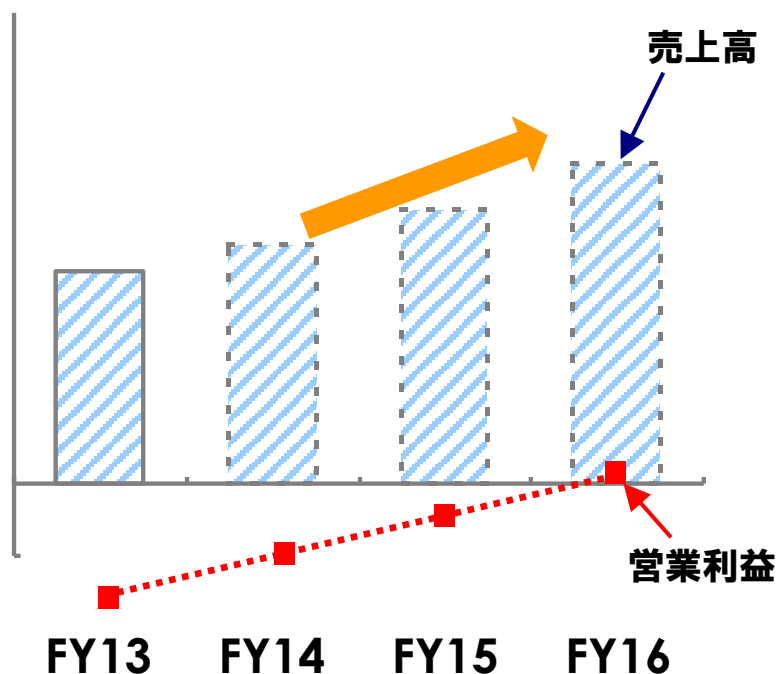


# 1) 地域別の取り組み〔欧州〕 ～欧州収益構造改革～

## 2016年度黒字化へ向け 欧州収益構造改革を推進

### 欧州収益構造改革

BAEリバイバルプラン(2013年5月～)  
を通じ欧州地域一体の収益確保を目指す



#### ① 本社機能の効率化

- 1) 統括会社統合による経営の効率化、規模の最適化

#### ② 製造部門の体質強化

- 1) 生産性の向上
- 2) 不良低減
- 3) 歩留まり改善
- 4) 生産しくみ改善
- 5) 不採算工場の閉鎖

## 2) モノづくり改革への取り組み〔日本〕

# 日本国内生産台数減少に対するモノづくり

中期生産予測

新規事業計画

工場別収益

物流効率化

「工場再編シナリオ」の見直し  
(2013年度中)

生産関連施設

### 減産対応（短期）

- ・変化に強いリーンな工場
  - 変化に強い設備、工法開発
  - 生産工程再配置、物流改善

〔活動〕

型費低減

工法開発

モノづくり

### 基盤強化（中期）

- ・新規ビジネスに備えた拠点整備
- ・ビジネス拡大を支える生技開発・工機拠点整備



富士裾野・豊橋の  
スペース整備完了

## 2) モノづくり改革への取り組み〔日本〕

# モノづくりの競争力向上のための取り組み強化

シンプル・スリム・コンパクト

### 設備投資低減

- ・工法改革活動
- ・型費低減活動 **新規**

### 製品原価低減

成形品

- ・モノづくり改革活動 **新規**

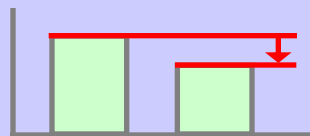
#### 事例1) シートフレーム溶接設備

【総工程数】

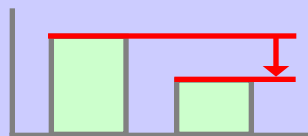
工程統合により削減

【投資額】

治具簡素化等



従来 次期モデル



従来 次期モデル

#### 事例2) ドアトリム部品同時成形

〔従来〕



別工程で樹脂部品を接着



〔開発〕

天然繊維素材に樹脂部品を同時成形



- ・接着剤レス
- ・樹脂材料ミニマム化
- ・工程統合

### 3) 新技術への取り組み

## 『表皮一体発泡工法』※

# 走りを楽しむホールド性と上質デザインを実現

※金型にセットしたシートカバーの中にウレタンの原料を注入し、発泡させて成形する工法

身体の曲線にあわせた理想的なシート凹断面形状を実現し、  
高度な乗り心地とデザインを両立



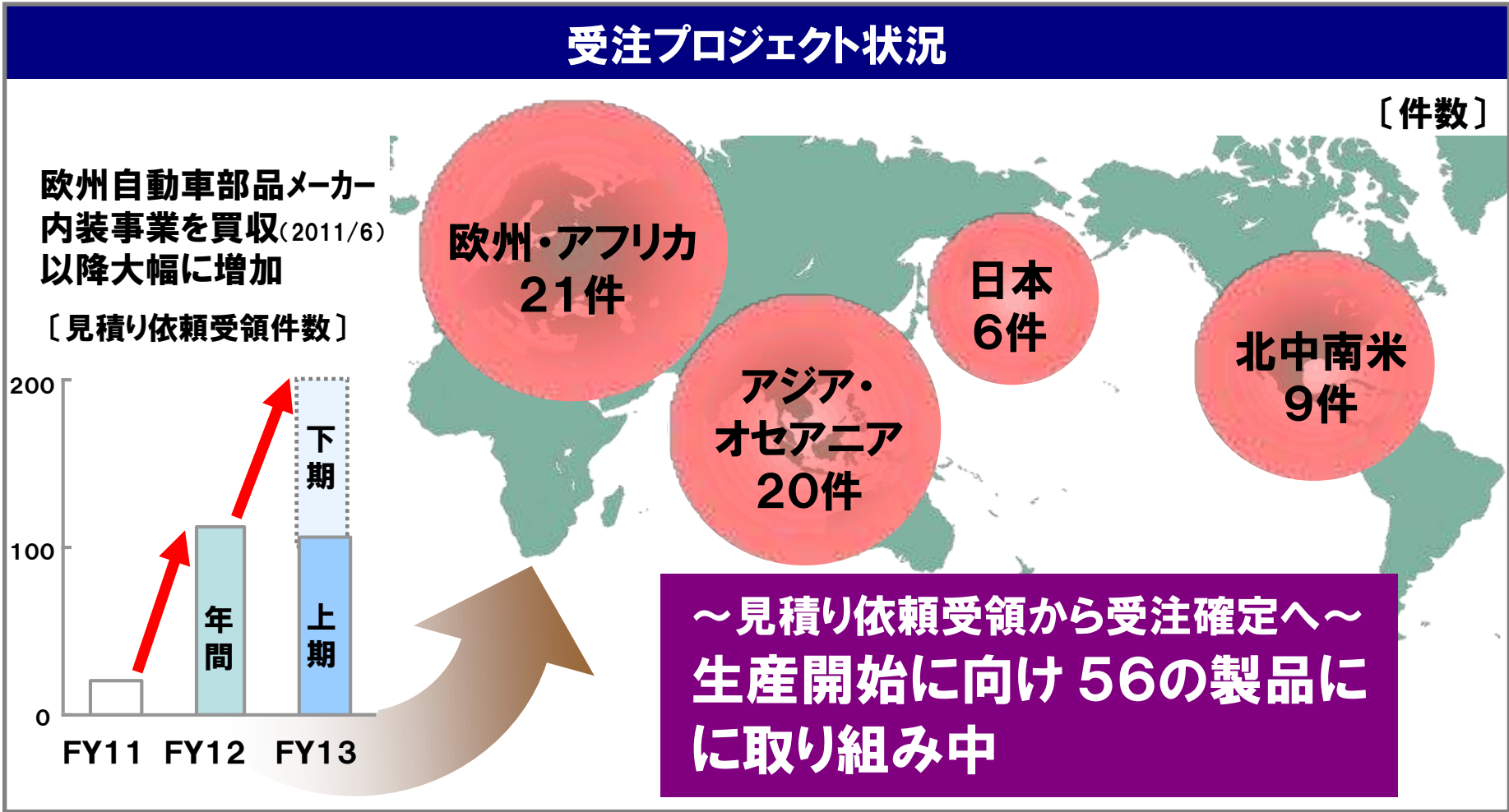
## LEXUS 新型IS F SPORT に採用

- ・この工法で着座センサーと空調機能の組込みは世界初
- ・ファブリック、合皮、本皮と多彩な表皮材で可能

第10回“超”モノづくり部品大賞にて自動車部品賞を受賞 [モノづくり日本会議 / 日刊工業新聞社主催]

# 4) 新規顧客への取り組み

## NCB:新規顧客ビジネスが定着、受注件数が着実に増加 グローバルな生産拠点で新規ビジネスへの対応準備

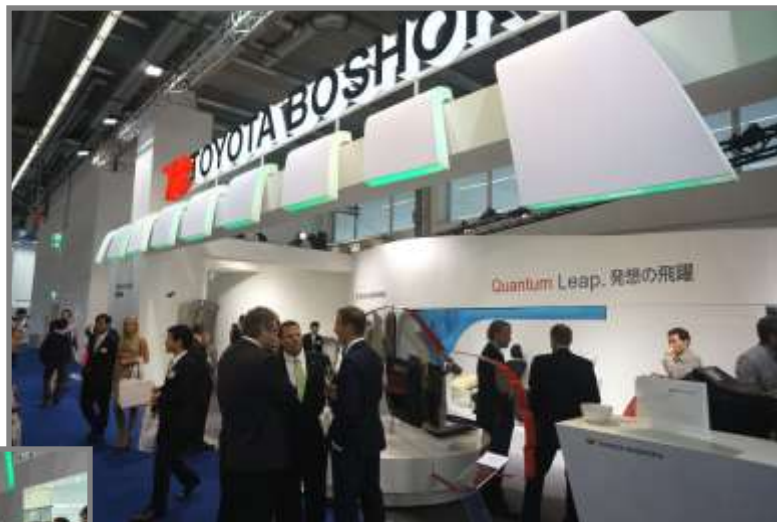


## 4) 新規顧客への取り組み

# NCB:新規顧客ビジネスへの拡販活動

### 欧州自動車メーカーへのアプローチを推進

#### フランクフルトモーターショーに本年9月初出展



トヨタ紡織ブース

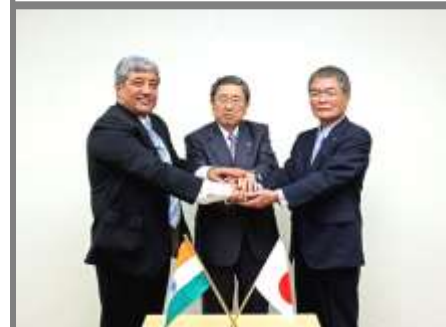


モーターショーを商談の場  
として活用

### 新興国への取り組み

#### インド営業新会社設立

インドの現地部品メーカーと  
「トヨタ紡織レランインディア」  
を設立、現地自動車メーカー  
への営業を強化



# *Design Your Passion*



## <注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。